

# 和気地区

人口: 11,987人(高齢化率31.7%)  
世帯数: 5,674世帯

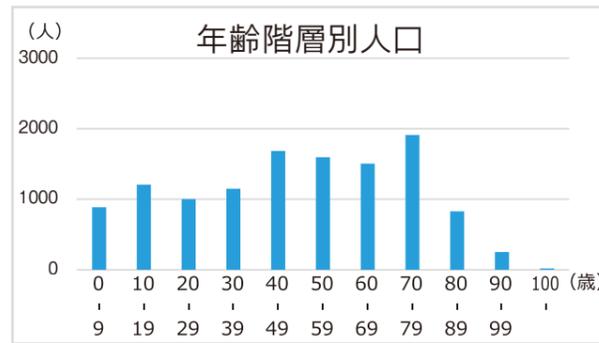


## 【地区の特色】

和気地区は、松山市の北部に位置し、かつては農業と漁業を中心とした地域であったが、時代の都市化とともに、企業をはじめマンションや住宅等が凌ぎを削りあうように建ち並ぶ地域となった。また、他地域からの転居者も増加し、住民意識も変化しつつある。しかし、日頃から町内会や各種団体は相互の親睦や連携がとれており、地域一体となった様々な活動が展開されている。



大声大会in和気浜海岸



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関(公民館、町内会連合会、地区民協、病院、警察等)との連携が取れている</li> <li>・和気公民館のリーダーシップ ・青パトによる安全パトロール(毎月5、15、25日)</li> <li>・小中学校、みなら特別支援学校城北分校の福祉活動への協力体制が整っている</li> <li>・お接待、グループホーム訪問、独居老人安否確認パトロール</li> <li>・地区社協と地区民協との協力(地区民協の会合に参加)</li> <li>・宿泊体験学習(防災教育)、ウォークラリー(三世代交流)</li> <li>・和気っ子安全パトロールによる安心安全のまちづくりが行われている</li> <li>・福祉施設が多くあり、秋祭りには神輿を迎え入れてくれる</li> <li>・海の日の大声大会(1200人参加)による防災意識の強いまちづくり ・災害が少ない</li> <li>・地域の大きな行事が多く参加者も多い ・地域の団結力がある ・緑多き田園地域</li> <li>・65才以上の高齢者が活動的 ・休耕地にソーラーを設置活用</li> <li>・はまぼうふ(希少植物)がある ・和気浜海岸清掃</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和気浜海岸が近いこと、南海トラフ地震への不安が大きい</li> <li>・子ども会が減っている ・児童の親との親睦が少ない</li> <li>・仕事をしている世帯の地域行事への参加が少ない</li> <li>・福祉活動に携わる年齢が高い ・地域のつながりの希薄化が現在進行中</li> <li>・田舎なので夜間の道が暗い ・休耕地、耕作放棄地の増加 ・鳥獣被害</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化により地域の負担が増大する ・地区社協活動への理解</li> <li>・町内会で地域活動に温度差がある ・町内会の役員の引き受け手が少ない</li> <li>・現役世代の関わりが少ない ・興味のある行事にしか参加しない</li> <li>・一部、買い物や通院に不便な地域がある ・集いの場に行きたくても手段がない</li> <li>・隣近所の付き合いが希薄化しており、昔のような井戸端会議がなくなった</li> <li>・独居高齢者の把握が難しい ・公共交通の乗り物が少ない</li> </ul>

## 和気地区社会福祉協議会

安心・安全・笑顔<sup>わけ</sup>を和気よう!

構成団体	地区民協・町内会連合会・公民館・共同募金会・小学校・中学校 支所・農協・自主防災組織
主な取り組み	活動内容
独居老人安否確認パトロール	一人暮らし高齢者を対象に、防犯・防災のパンフレットと、和気小学校の児童による手紙を持ち、北・内宮中学校の生徒が地域プロジェクトメンバーとともに高齢者宅を訪問し、高齢者の安否確認や地域での見守りの強化を図っています。
合同研修会	地区社協・地区民児協、町内会連合会と連携を高めるため、毎年合同で研修会を実施しています。
放課後子ども教室への協力・支援	地区社協・地区民児協の関係者による放課後子ども教室の支援及び和気っ子安全パトロール隊によるみまもり支援を行っています。

### お接待

公民館と連携し、和気地区にある四国八十八ヶ所の札所「太山寺」から「圓明寺」に向かう道沿いに位置する和気公民館施設にて、毎月歩き遍路の人々をお接待でお迎えしています。

子どもたちによるお接待の日もあり、地区社協としても活動支援を行い地域での福祉学習を推進しています。



### <地区社協が目指すもの>

和気地区社協は、高齢者、子ども及び障がい者への福祉を3本柱とし、公民館・地区民協・町内会連合会との連携を密にして地域福祉の推進に取り組んでいます。

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| (1) 独居老人安否確認パトロール     | (2) お接待                  |
| (3) 放課後子ども教室への協力・支援   | (4) 合同研修会(社協・民児協・町内会連合会) |
| (5) みなら特別支援学校城北分校との交流 | (6) グループホーム訪問            |

以上の事業を中心に今後も地域住民の方が安心・安全に暮らせる和気地区を目指しています。

地区の状況	■地区民協	22名	■町内会・自治会・区長会等	22団体
	民生委員 主任児童委員		2名	■高齢クラブ
	■まち協の設立	-	■子ども会	1団体
			■自主防災組織	26組織

過去の一次産業中心の地区から、現在は企業やマンションの増加に伴い新しく移り住む住民も多くなりました。そのような中でも住民を中心とした様々な地域組織と社会資源との連携が円滑にとれる体制が整えられており、災害など有事に地区レベルで取り組むための基盤ができていといえるでしょう。防災教育を行う宿泊体験学習のほか、独居老人安否確認パトロールなど現在の取り組みやつながりも、今後の防災力向上にどのように連携・発展するのか興味深いところです。また、歩き遍路の方々へのお接待文化や子どもたちの見守りなどは、子どもの地域への愛着心が育つ貴重な取り組みとなっており、今後は新たに転入してきた住民や多世代も加わった活動や行事がどのように展開されるのかを期待させられる地区です。



